

「題字無限齋碩叟筆」

# 法文タイムス



今月の表紙 < 名勝 いすいえん 依水園 「せいしゅうあん 清秀庵」本席 >

写真 小笠原敏孝

又妙斎筆「松無古今色」、一燈好アハ筒写し 新瀬戸花入 玄々齋在判  
(阿波)

依水園には奈良の実業家・関 藤次郎が裏千家12代又妙斎の指導により造った建築が複数ある。  
この茶室は「又隠」写しの四疊半で、楊枝柱、柳釘、洞庫などを備える。

10

2016 / 第 507 号



## 余情残心

いし ぎん

御献茶をご奉仕させていただく機会が多くあります。有り難いことです。点前座で点じた御茶をお供えさせていただいた後に自席へ戻るわけですが、点前座が見える場合はそちら側を眺めるようにします。それは先ほどまで自分が点前をして座っていた場所、もう今は空いているそこに自身の気配が残っているかを自分で意識するためです。「余情残心」とは無理に人様にアピールするようなものではありません。「一仕事終えた」とホッと気が緩んで最後に台無しにしてしまわないよう、「ご奉仕させていただけた」と省みる心で点前座を眺めます。

皆さまも稽古場での一点前であったり、大寄せ茶会で亭主役を担当して点前をする際などに、点前座にいるうちは緊張の糸を張りつめて集中していたとしても、もう茶碗を持って下がってくる際には「ああ終わった」という心が芽生えて気を緩めてしまうことはいけません。しかし、水屋に戻るまで点前は続いています。要は気力をどこまで引っ張っていけるかということ。「水屋で片づ

けを終えるまでが点前」と頭でわかったつもりになっても、実行するためには弛まず心掛けることが必要です。

世の中がせわしなくなったのは、立ち止まって今居たところを振り返ることをやめてしまったためではないかと思えます。点前だけではなく生活の中のいろんな場面でもちよっと一呼吸をして省みてみれば、小難しいことは何もなくても余情残心は生まれます。この月、「中置」もその心のひとつと捉えることができます。夏を思い出し、今居る秋としっかり向き合い、来る冬に思いを馳せる…。皆さまそれぞれが自分自身で、立ち止まって振り返る工夫をなさっていただきたいと存じます。

一 盃からピースフルネスを  
一 盃で感謝・合掌・仕え合い

平成27年度・28年度 家元指導方針

- 一、茶の湯に出会う、日本に出会う  
日本を知らない日本人の為の架け橋となろう
- 一、良い先生の育成とそれに伴う良い社中づくり  
思いやりある茶人になることを目指そう
- 一、誇りと情熱  
「教授者」の一人一人が地域社会における茶の湯をより高めるべく、自己の修練に励もう
- 一、同門一体感の高揚  
茶の湯を学ぶ人々の一体感を高揚し、社中の帰属意識の啓発につなげよう
- 一、「集いの場」としての淡交会をより豊かに  
支部・青年部・学校茶道、そしてお教寄者を含めた組織の連携と円滑な運営に心掛けよう



# しっかりとした気構えを持つて

千玄室

爽秋を迎え、同門社中の皆さんには自然とともに生かされていることをあらためて実感されていることでしょう。十月は名残りの風炉の季節、炉とは違う茶趣を味わい、あとひと月を大事にして頂きたいものです。

さて、孟子の教えに  
窮すれば即ち独り其の身を善くし、  
達すれば即ち兼ねて天下を善くす

があります。これは身を窮地におかないと善など行えるものではない。自分自身を捨て「無」の境地になってこそ、真の進路が定まり、世の中を善くすることができる、ということでしょう。「自らを捨てる」。これは決して遊び事では済まないものです。私利私欲の塊りが人間本来の姿ですが、これを捨ててはじめて裸の人間になれます。「裸の人間の魂が人のために生かされていく」と、私は師の後藤瑞巖老師から訓育されました。しかし、なかなかできるものではありません。

ところで、現代において重要視される「情」・「知」・「意」の三つとは何なのでしょう。「情」は心の底から溢れ出てくるもの。「知」は単なる知識だけでなく、物事を深く理解すること。「意」は心だとすると、その「心」はどこにあるのか。その「心」、即ち真意を探索していくことが重要なのです。これらの土台となるのは自分であり、自分の勇気即ち胆力がなければできません。腹に力を入れて「よしやるぞ」という気構えを持つことです。私が世界中を「一盃からピースフルネスを」の茶道精神をもって行脚することができているのも、この気構えによるものです。皆さんも、しっかりとした気構えを持ち、茶道の教えに学び、世界平和をめざし、お互いの心が通いあう安らかで豊かな社会の実現を志してください。

合掌



## 第百二回 夏期講習会

八月二十六日から三十日までの五日間、宗家において夏期講習会が開催され、国内外より集った同門七十七名が受講しました。

初日午前九時からの開講式では、坐忘齋家元が挨拶として「茶の湯では季節と上手に折り合いをつける。工夫が大切にされてきました。講習会の五日間、一日一日と素直に向き合い、その日と歩み寄る工夫をもってそれぞれ点前に臨んでいただきたい。例えば客役の時にも、亭主のそうした思いを受け止めるつもりで座ってください」と激励。受講者を代表して水谷宗美氏（倉吉支部）が誓いのことばを述べ、早速実技講習に入りました。

講習会では割稽古から始まり、基本点前、小習事、四ヶ伝、行之行台子までの実技講習、さらに鵬雲斎大宗匠、家元の講話、千家十職の樂吉左衛門氏による課外講座、坐禅などが行われました。

最終日午後三時からの閉講式では、家元が受講者代表の松本宗裕氏（会津支部）に修了証を、金光宗恭氏（熊本支部）に学校茶道教授者適格証を授与。家元からの挨拶の後に、受講者を代表して鈴木宗富氏（東京第五東支部）が謝辞を述べ、充実した講習会が終了しました。

●淡交会 関東第三地区講演会

主催：関東第三地区（上野孝地区長

八月二十一日、横浜市の横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホールにおいて、千万紀子様を迎えて開催され、来賓の川崎市長 福田紀彦氏（川崎支部顧問）はじめ関東第三地区内の各支部・青年部役員、会員など同門社中約二百名がごつどいました。オープニングセレモニーでは、フルートの演奏披露、上野地区長と野澤隆幸 副地区長（実行委員長）による主催者挨拶がありました。

続いて万紀子様による講演会が行われました。「日々是好日」と題した講演の中で万紀子様は、日常生活の話や今日庵の諸行事に触れながら「茶道の魅力は人により異なると思いますが、初めからわかるものではなく、稽古を重ねていく中で徐々に深まるものではないでしょうか」と参加者に語りかけるように話されました。終わりに、岡田伸浩 副地区長が謝辞を述べ、小市宗恵 地区委員長から万紀子様に花束が贈られました。



●岩手支部七十年記念大会

主催：岩手支部（鈴木俊一支部長

八月二十八日、千万紀子様、伊住公一朗様出席のもと盛岡市にて開催。盛岡市長の谷藤裕明氏（代理：藤尾善一副市長）、東北地区長の長谷川吉茂氏（今日庵老分・山形支部長）、岩手南支部長の宮澤啓祐氏（淡交会理事）はじめ来賓、役員・会員約四百名が参加しました。盛岡グランドホテルを会場に、午後四時からは記念式典を挙行。鈴木支部長（衆議院議員）の挨拶、来賓祝辞、岩手支部から裏千家災害救援基金へ義援金贈呈、功労者表彰がありました。続いて、万紀子様による記念講演会が行われ、久慈竜也 副支部長から謝辞が述べられました。記念懇親会では川村 登 副支部長の挨拶、公一朗様によるお祝いの言葉があり、福井誠司 副支部長岩手県議会議員）の挨拶で締めくくられました。式典に先立ち、市内各所を会場に濃茶席（歴代役員担当）、薄茶席二席（支部役員・男性会員担当、青年部・学校茶道担当）が設けられました。



●キャノン会長、HPE・HP Inc. CEO 来庵

五月十一日、御手洗富士夫 キャノン株式会社代表取締役会長兼 CEO、メグ・ホイットマン Hewlett Packard Enterprise (HPE) CEO、デイオン・ワイズラー HP Inc. CEO 一行の来庵を受け、坐忘齋 家元が抛筌 齋においてもてなされました。



●大宗匠、京都大学 ELP にて講義

六月十一日、京都大学エグゼクティブ・リーダーシップ・プログラム（ELP）の講師で、同大学院の特任教授を務める鵬雲斎大宗匠が「茶の心―和・敬・清・寂―」をテーマに、同大の橋会館にて講義をされました。ELP とは同大学院総合生存学館「思修館」が主催するエグゼクティブのための教育プログラムで、講義後には今日庵 業舩部による茶道デモンストラーションと呈茶が行われました。



無限斎碩叟宗室居士・清香妙嘉大姉祥当日法要

九月七日、大徳寺聚光院において千家二代少庵宗淳居士並びに無限斎碩叟宗室居士、清香妙嘉大姉の祥当日法要が営まれ、鵬雲斎 大宗匠、坐忘齋家元夫妻はじめ親族方や縁の方々が参列されました。大宗匠と家元が一盃を捧げられた後、小野澤 虎洞師を導師に読経が行われ、参列者は順に焼香して合掌しました。また法要後には、閑 隱席（今日庵担当）と三 玄院（志俱会担当）において、遺徳を偲んで一盃が呈されました。



各地の今日会

京都 今日会 開催日 九月二日  
会長 九條道弘氏 [平安神宮宮司]  
大阪 今日会 開催日 九月六日  
会長 大林剛郎氏 [橋大林組代表取締役会長]

晴れの受賞者

平成28年北海道警察協力功労者表彰 北見方面本部長感謝状  
豊橋市名誉市民 宮川隆昌氏（網走支部支部長）  
フランス共和国 国家功労勲章オフィシエ 神野信郎氏（三河支部支部長）  
澤山精一郎氏（長崎支部支部長）

淡交会 総本部より

平成二十九年度 会費納入 について

淡交会の会員種は、取得されている許状資格に則って定められています（※申請中の許状資格は、取得とは認められません）。平成二十九年度の会費納入の通知が届いたら、速やかに所属支部にて規定の会員種で納入手続きを行ってください。納入に関する事務手続きはすべて支部を通じて行っていますので、詳細は所属支部にお尋ねください。

◇淡交会入会について

許状を取得された方は全員、まず最初は淡交会「普通会員」として登録されます。行之行台子以上を取得された方は、「正会員」以上の規定の会員種に在籍していただきます。行之行台子以上の申請をされた淡交会未入会の方には、今日庵より許状を送付する際に「新規入会申込書」を同封しています。社中の受伝者には、ぜひ入会をお勧めください。手続きについては支部にご連絡ください。

※申込書は必ず入会者本人が楷書で記入。  
※許状送付時に同封される、登録情報印字済の「新規入会申込書」は再発行しません。  
※申込書が必要な方は支部にご請求ください。

許状資格と会員種（年会費）

- ◎入門と和 midpoint …… 普通会员  
(登録のみ入会金・年会費なし)
- ◎行之行台子以上 …… 正会員 (年会費3千円)
- ◎真之行台子以上 …… 終身正会員 (年会費1万円)
- ◎茶名・準教授 …… 終身師範会員 (年会費2万円)
- ◎教授以上で、理事会の承認を得た方 …… 特別師範会員 (年会費3万円)
- …… 特別維持会員 (年会費2万円)

\*数寄者または知名士で、理事会の承認を得た方 …… 特別維持会員 (年会費2万円)

※「普通会员」は入会手続き不要。  
※新(再)入会には入会金千円が必要（「特別師範会員」・「特別維持会員」を除く）。  
※会費納入後に上位許状を取得された場合、既定の会員種に変更できます。支部にお申し出ください。茶名取得後は、「終身師範会員」への会員種変更をお願いします。  
※未納年度がある場合、様々な会員特典が受けられないことがあります。平成二十八年度会費未納の方は、平成二十九年度に限り、遡って平成二十八年度分の納入が可能です。

担当部署

一般社団法人 茶道裏千家淡交会 総本部「情報管理部」  
〒602-0073  
京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町六八二番地  
電話：(075) 451-15166

# 許状資格の申請について

許状資格の申請は、支部での受付のほか、今日庵「執事室（許状）」宛に直接お送りいただくこともできます。必要な書類を揃え、支部の許状係または今日庵宛に提出してください。

挨拶料は、申請書類受理後に今日庵から送付される「払込取扱票」を使い、最寄りの郵便局

からお振り込みください（要振込手数料）。許状と資格証は、挨拶料の入金が確認できてから手続きを進め、取次者（先生）宛に送付します。

なお、茶名・紋許（専任講師）と準教授（助教）は一般許状より期間を要しますのでご了承ください。

## ◇許状資格申請書

「一号様式」と「二号様式」があります。初回申請時、今日庵より許状と共に受伝者の登録内容が印字された「二号様式」を送付していますが、「二号様式」の無い方は「一号様式」に記入・作成してください。なお、準教授申請者の「二号様式」は平成二十五年六月以降送付しておりません。

## 許状資格申請書 兼 登録用紙（一号様式）

- ①受伝者記入欄は、受伝者本人が楷書でお書きください。
- ②初めての申請は、初級（入門・小習・茶箱点）が必須です。入門から和巾点（初級と中級）は一括で申請できます。
- ③取次者と受伝者の署名・捺印をご確認ください。

## 許状資格申請書（二号様式）

- ①取次者の署名・捺印をご確認ください。
- ②取次者通信欄の内容をご確認ください。
  - 規定の年月日を経過していること。
  - 茶名の申請は、淡交会「終身正会員」であること。茶名（専任講師）申請書を添付のこと。
  - 準教授の申請は、淡交会「終身師範会員」であること。準教授（助教授）昇格申請書を添付のこと。

## 許状資格申請一覧表（三枚複写）

支部での申請受付時に、「取次者控」を受け取ります。今日庵に直接送付申請の場合、三枚複写のうち「取次者控」は先生がご自身で外し、手元に保管してください。

## ◇許状資格申請一覧表（三枚複写）

申請が一名でも記入・作成し、申請書と共に必ず提出してください。

## よくある質問

### 問 許状の初回申請について

初めての申請は「入門」の許状だけでいいのでしょうか？

答 いえ。初級として「入門」「小習」「茶箱点」を一括で申請することが必須です。

なお、初回申請時に「入門」から「和巾点」まで（初級と中級）をまとめて申請することも可能です。

### 問 茶名申請時の会員種について

「茶名」を申請する際に、必要な条件は何でしょうか？

答 淡交会「終身正会員」（年会費二万円）に在籍していること、「正引次」許状取得から一年以上経過していることが条件です。

なお、「茶名」取得後は「終身師範会員」（年会費二万円）へ会員種変更をお願いします。

### 問 淡交タイムスと登録の師匠名について

新しく師事した先生から「真之行台子」許状を申請してもらいましたが、淡交タイムスが届きません。

答 「正会員」在籍の方は師匠宛に同封しています。「真之行台子」以上を取得後「終身正会員」へ会員種変更をされると、総本部での手続き完了後から本人宛に直送されます。

なお、本人から変更の申し出がない限り、淡交会入会時の師匠名が総本部での登録です。

## 門標の申請について

引次（上級・助講師）以上の資格をお持ちの方は茶道の修道者であると同時に「指導者」という大切な役割を担っています。それを担う決意と自覚を表すひとつの形が門標（表札）であり、「心の標」でもあります。資格に則した淡交会会員種に在籍している方は、今日庵に直接申請していただけます。



横 10.5cm  
縦 27.5cm  
厚み 2.5cm  
良質の松材を使用しています。

### ●申請方法

はがきに必要事項を記入し、左記宛に送付してください。

※今日庵門標申請専用はがきもあります。

※茶名を取得されていない方は「本名」となります。

- 門標を申請します
- ①会員証番号
  - ②氏名
  - ③茶名
  - ④電話番号・郵便番号・住所

### ●挨拶料 二一、六〇〇円

（挨拶料二〇〇〇円、消費税一、六〇〇円）

代金引換郵便で門標をお送りしますので、受け取りの際にお支払いください。

### 担当部署

一般財団法人今日庵「門標申請」係

〒602-0061  
京都市上京区小川通寺之内上る本法寺前町613番地  
電話：(075)431-1311

## 学生・生徒の

## 許状資格について

裏千家では、茶道を通じた「お人づくり」のため、学校における茶道教育の充実につとめています。学生・生徒にとっては、資格を取得することが大きな励みとなり、修道意欲を高めることにもつながります。

許状の取得と共に次の資格が付与されます。

- 入門・小習・茶箱点を取得：初級
- 和巾点までを取得：中級
- 引次までを取得：上級（助講師）

資格は、進学・就職時の願書や履歴書等に記されても分かりやすいよう、一般的な名称を用いていますので、選考で有利にはたらくこともありません。学校茶道の指導者の方々、社中に就学中の弟子をお持ちの方は、早めの対応をお勧めします。

なお、申請に使用する「許状資格申請書兼登録用紙（一号様式）」は各支部事務所にもありますが、今日庵に直接お申し出いただければ送付いたします。

申請には、余裕をもってお手続き願います。

問い合わせ・申請書類送付先

一般財団法人今日庵「執事室（許状）」

〒602-0061  
京都市上京区小川通寺之内上る本法寺前町613番地  
電話：(075)431-1311



学校法人 裏千家学園

裏千家学園茶道専門学校

裏千家学園

検索

## 体験入学のご案内

開催日 11月5日(土)

申込締切 10月21日(金)

募集人数	20名 *申込み多数の場合は選考します
プログラム	授業体験、入学相談、在校生との交流、学生寮見学など
参加資格	本校入学をお考えの方(志望コースを問いません。年齢・許状資格の有無不問)
申込方法	学園HPから所定用紙をダウンロードし必要事項を記入のうえ郵送してください
その他	参加無料、昼食付き。制服・スーツ・着物など服装自由 *洋服の方は替えの白靴下

## 公開講座のご案内

### 『宗家の年中行事』

講師：裏千家今日庵業躰 阿部宗正

開催日時	11月14日(月)15:00~16:20	募集人数	50名 *先着順
申込期間	10月14日(金)~10月31日(月) 期間内必着		
申込方法	往復はがきに下記の必要事項を記入のうえ郵送してください(1通につき1名様) ①住所 ②氏名 ③年齢 ④昼間に連絡の取れる電話番号 定員になり次第締め切り。返信はがきにて受講可否を通知します		
受講料	2,000円 *当日受付にて申し受けます		
その他	14:00~14:50まで茶席を用意しています		

## 平成29年度 学生募集要項

	茶道科		1年コース	研究科 春期3か月コース
	公募推薦入試	一般社会人入試		
試験日	平成28年12月3日(土)	【前期日程】平成29年2月4日(土) 【後期日程】平成29年3月4日(土)		
出願期間	平成28年11月1日~22日	【前期日程】平成29年1月6日~25日 【後期日程】平成29年2月6日~22日		
募集人数	40名	10名	10名	
出願資格	高等学校卒業以上または卒業見込みの方 許状資格の有無は問いません	「中級(和巾点)」以上の許状 を有する方 *申請中可	「引次」以上の許状を 有する方 *申請中可	
選考方法	*年齢・性別・国籍を問いません *日本語能力試験2級合格以上の日本語能力が求められます 書類審査・面接・小論文(テーマは当日提示)			
学生寮	初年度は入寮を原則とします	通学を原則としますが、空室があれば入寮可		

お問い合わせ・資料請求 〒602-0061 京都市上京区小川通寺之内上る本法寺前町651番地  
電話:(075)415-0045 FAX:(075)415-0053 E-mail:gakuen@urasenke.or.jp

### 【インターネットの場合】 (入力画面イメージ)

### 【書面の場合】 記入例

氏名・住所変更届  
下記の通り変更します

会員番号: \_\_\_\_\_  
氏名: \_\_\_\_\_

新住所、郵便番号  
電話番号

氏名変更の場合は  
 旧姓名  
新姓名、フリガナ

裏千家ホームページ「会員の皆様へ」インデックス内の「淡交会会員の氏名・住所変更届」をクリックし、専用フォームに入力後、送信してください。

[ユーザー名] tankotimes [パスワード] wakei28  
※パスワードは毎年変更します。

淡交タイムスは、「終身正会員」以上の会員種在籍の方には直接、本人宛に毎月送付しています。「正会員」の方は師事されている先生宛に同封していただきますので、師匠からお受け取りください。

※住所変更等により師事する先生が変わった場合も、師匠名変更を総本部宛に書面でお届けください。

許状申請手続きの際に更新できるのは、受伝者本人の情報(氏名・住所)です。取次者が新たな師匠であっても、受伝者の師匠名としては更新されません。許状申請とは別に、師匠名変更を総本部へお知らせください。

## 氏名・住所等の 変更届について

淡交会会員の氏名や住所の変更は、会員本人よりはがき・封書・フアクシミリ等の書面にて、または裏千家ホームページの「会員専用」ページから、淡交会総本部「情報管理部」までお知らせください。

※電話での受付はいたしておりません。  
※市町村合併等による住所表示の変更もお届けください。

淡交会会員(正会員以上)で許状資格をお持ちの方は、許状申請手続きの際にも氏名・住所等の登録内容が更新されます。変更がある場合は、「許状資格申請書」の「受伝者氏名・住所変更欄」に、受伝者本人が記入してください(その場合は、淡交会総本部への変更届は不要です)。

ただし、申請書の提出後に氏名・住所等が変わり、許状の氏名も変更を希望される方は、淡交会総本部へ変更届を提出されるとともに、別途、今日庵「執事室(許状)」宛に書面にて、その旨を速やかにお知らせください(今日庵へ届けがない場合、許状は申請時の氏名で発行されます)。

### 文化庁後援

## 第9回 茶道文化検定

主催：一般財団法人今日庵 茶道資料館

申込締切は  
**10月6日(木)**  
まで!

今後の日程は次のとおり予定しています。

### 受検票 平成28年11月初旬発送予定

※未着、または氏名・住所に誤りがあった場合は、11月9日(水)~11月18日(金)17時まで、茶道文化検定運営事務局へご連絡ください。  
※受検会場、当日の持ち物は必ず受検票をご確認ください。

### 検定日時 平成28年11月20日(日)

1級 10:50~12:30(100分) 3級 13:20~14:30(70分)  
4級 10:50~11:50(60分) 2級 15:20~16:40(80分)

【お問合せ先】

茶道文化検定運営事務局(日本出版販売株式会社内)

茶道文化検定

E-mail: info\_kentei@nippan.co.jp TEL: 03-3233-4808 (月~金 10時~12時、14時~17時)

※一般財団法人今日庵は「茶道文化検定」の業務の一部を日本出版販売(株)に委託しています。

# 芝居と菓子—「恋女房染分手綱」

中山圭子 (菓子資料室虎屋文庫専門職)



(重の井子別れ) 3枚続の内 右2枚  
歌川国周 明治14年(1881) 虎屋文庫蔵

岩井紫若のお乳人重の井と三代目  
岩井糸三郎のじねんじょの三吉  
歌川国芳 虎屋文庫蔵

今回の二点の錦絵は、歌舞伎や文楽でよく上演される「恋女房染分手綱」の「重の井子別れ」の段を題材にしています。女性は丹波の大名の姫君に乳母として仕える重の井、少年は馬子の三吉です。三吉が道中双六をすすめたことで、嫁入りをいやがっていた姫君の機嫌が直ったため、重の井は褒美に菓子をもつてきます。すると三吉は「母様」とすがりつくではありませんか。三吉が生き別れとなったわが子だとわかって、大事な使命があるため、重の井は親子の名乗りができません。身を切られるような思いで三吉と別れます。

感涙を誘う名場面に登場する菓子はというと、右の錦絵では色違いの饅頭のようなもの、左の錦絵では蕨や花をかたどった干菓子(落雁でしようか)、紅白の縞筋の有平糖(カステラに似たものが描かれています(下は拡大図))。



\*大久保純「錦絵に描かれた菓子」虎屋文庫編「和菓子」十七号 虎屋、二〇一〇年

## 十職の所懐

一閑張細工師  
飛来 一閑

〈第九回〉

### 一閑張の技法

今月は、前回お話ししました和紙を木地に張る一閑張の技法について、お話ししていきたいと思えます。元伯宗旦好みの黒四方盆や、坐忘齋御家元のお好み物である亀甲盆などの工程を例に、お話しして参りましょう。



- (左から)
- ・糊を混ぜたりするための幅広なヘラ
  - ・紙を木地に密着させるための自作ヘラ
  - ・糊を塗るための刷毛

刷毛で糊を塗る



ヘラの弾力を使い、和紙を木地に密着させる



©Akira Takemae

手漉きの和紙に入った糞などのごみをピンセット等で丁寧に取り除きます。  
張る部分に和紙を当て、鉛筆で型をとります。  
型をとった和紙を切る時は、紙が糊の水分を含んで伸びるのを見込んで、少しだけ小さく切ります。  
刷毛で糊を木地に塗り、和紙を張ります。  
初代の頃は漆は高価なものでしたので、下地に何度も漆を塗り重ねる代わりに、木地に和紙を張ったのではないかと思います。  
紙を張る糊は秘伝ですが、先祖代々からの作り方を守り、現在でも家で作っています。この糊を、自分で使いやすいように削った竹のヘラ

を使って、和紙の繊維の一本一本に糊を染み込ませるように、隅々まで張っていきます。  
和紙全体に糊が行き渡り、木地に吸い付くようにぴったりと張られると、ひと目見ただけではわからないくらい、和紙は木地の色と同化します。  
このあと、和紙の細かい繊維がうぶ毛のように出ているのを紙やすりをかけて砥ぎます。  
さらに柿渋を薄く塗り、いよいよ仕上げの上塗りとなります。  
漆は、和紙の風合いを損なわないように、一回だけ塗って仕上げます。

宗旦忌(11月19日) 参詣案内

淡交会会員だけでなく裏千家茶道を学ぶ同門であれば、参詣の申し込みができます。

【申込方法】 往復はがき1通につき1名  
 【登録費】 21,600円(登録費20,000円・消費税1,600円)

※参詣許可者には振込用紙をお送りします(1か月前)。入金の確認後、参詣ご案内状(返信はがき)を送付しますので、当日受付にご提示ください。

<往復はがき記入例>

往	602-0061 京都市上京区小川通寺之内上る本法師前町六二三番地 裏千家今日庵 宗旦忌係	返	本人の住所・氏名  氏名 住所(郵便番号) 電話番号 所属支部名 会員番号(〇〇社中)
(何も書かないでください)			

申し込み・問い合わせ先  
 一般財団法人今日庵「宗旦忌」係 TEL:(075)431-3111

「裏千家ゼミナール」受講者募集

茶道特別講座「裏千家ゼミナール」は、「道・学・実」三位一体の茶道修習の場として、また茶道教授者の資質向上を目的に全国11か所で開講しています。このたび下記のゼミナールの受講者を募集します。専用の申込書は当該地区内の支部事務所、または今日庵「裏千家ゼミナール」係へご請求ください。

- ◆第13期 北海道ゼミナール本科(定員80名)  
 於・裏千家北海道茶道会館 札幌市中央区北二条西14丁目1-2
  - ◆第16期 北海道ゼミナール別科(定員80名)  
 於・裏千家北海道茶道会館 札幌市中央区北二条西14丁目1-2
  - ◆第8期 九州ゼミナール(定員75名)  
 於・裏千家福岡茶道会館 福岡市東区箱崎1丁目43-5
- 【期 間】 平成29年3月～平成30年11月(1期2年間 10講座)  
 【申込締切】 平成28年12月16日(金) ※書類選考  
 【受講資格】 淡交会終身正会員以上  
 ※北海道ゼミナール本科は別科修了者に限ります。  
 ※北海道ゼミナール別科は淡交会正会員以上となります。

問い合わせ先  
 一般財団法人 今日庵「裏千家ゼミナール」係  
 〒602-0061 京都市上京区小川通寺之内上る本法師前町613番地  
 TEL:(075)431-3111

「裏千家メールマガジン」のお知らせ  
 (次回第63号は10月15日配信予定)

※画像は第57号のイメージです。



淡交会会員、青年部会員、学校茶道を学ぶ学生・生徒を対象として毎月15日前後に配信しています。創刊から5年、60号以上を発行、現在6,000名以上の読者がいます。今年の4月からは、冒頭の挨拶文を千敬史様、万紀子様、伊住公一朗様、禮次朗様が順に担当されています。その他、タイムリーな行事報告や宗家メディア出演のお知らせ、「茶人の逸話」などの連載読み物他、さまざまな情報を配信しています。

- <登録方法>
- ①裏千家ホームページにアクセス  
<http://www.urasenke.or.jp>
  - ②左側「会員の皆様へ」インデックス内→「裏千家メールマガジン」ページ内の登録アイコンをクリック  
 [ユーザー名] tankotimes  
 [パスワード] wakei28
  - ③受付フォームにメールアドレスを入力

■各種申し込みの際に記載された個人情報、受付業務・参加歴の登録以外には使用いたしません。

義援金(災害救援基金口)協力のお願い

裏千家では、平成28年熊本地震、東日本大震災等、自然災害被災者への支援の給付に充てるため「災害救援基金口」の口座を開設しています。引き続き、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

義援金振込先

三菱東京UFJ銀行 京都支店 普通預金  
 口座番号: 5326474  
 口座名: 一般社団法人茶道裏千家淡交会災害救援基金口  
 シヤチヤドウウラセンケタンコウカイサイガイキユウエ  
 ンキキングチ

義援金の使途について

被災されました会員の方々へ給付を行うとともに、被災地の復興資金として役立てさせていただきます。

給付総数 二六三九件 総計 二六一、一四〇、〇〇〇円  
 (平成二十八年八月末日現在)

義援金 寄金者(芳名は敬称略 順不同)

柘植史雄、宇和島支部、西条支部、博多・福岡支部連合会、東京道場義援金箱、明石支部、三橋宗容、富山青年部、建部宗令、(有)松旭松堂、大分青年部、関東第一地区、埼玉県支部、室蘭支部、富士支部、新潟支部、大牟田青年部、神戸外語大学茶道部、菊池宗孝社中、唐津青年部、香川支部(多度津分会)、香川支部(坂出分会)、香川支部(丸亀分会)、香川支部(観音寺分会)、香川支部(善琴分会)、佐賀支部、津崎宗昭、京都東支部、博多支部、八幡浜支部、徳島青年部、松山青年部、澤井チエ子、森田次子、飛騨青年部、徳島支部、大洲支部、横須賀学校茶道連絡協議会、室蘭青年部、和同会、関東第一地区、岩手支部、岩手学校茶道連絡協議会、岩手青年部、岩手支部沿岸地区、岩手支部70周年実行委員会、平栗宗貞社中、関宗代社中、山崎宗愛社中(以上、平成二十八年八月一日から末日まで)

累計 二七八八件 一三三三、八八八、八九〇円

熊本地震被災淡交会会員への災害見舞金給付

8月27日(土)～29日(月)、裏千家では「平成28年熊本地震」において被災された淡交会会員へ、災害見舞金の現地での特別給付を行いました。会場の熊本市国際交流会館で、熊本支部による呈茶(28日(日))も行われました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧がなされますよう、お祈り申し上げます。

芳志箱運動 寄金者

ご協力いただき有難うございます。

- 【平成二十八年三月】 菊野宗敏、川田宗玲、楠本宗幸、猿渡宗美、西谷宗富、二神宗昌、井上宗代、岡田宗文、重川宗徳、木下宗美、篠崎宗弘、芝 宗美、高橋宗織、中岡宗暎、西岡宗幸、徳岡宗治、井原宗利、亀井宗初、小林宗勝、佐々木宗良、白形宗弘、中田宗智、松崎宗美、城本宗鶴、笠松宗諒、梅木宗恵、峯 宗洋、三好宗美、梶原宗扶、中田宗功、菅 宗江、岸 宗富、関 宗俊、高谷宗久、玉井宗培、玉川宗江、廣田宗由、日野宗悦、西山宗信、高市宗重(以上伊予)、増井宗榮社中(北九州)、三橋宗容、木村宗光、北野宗道、中島宗美、塚越宗紀、清原宗則、江南宗圭、酒井宗咲、小林宗鶴、大住宗佳、岡田宗厚、小松原宗泉、小森宗智、佐々木宗節、清水宗洋、随井宗好、田中宗和、長谷川宗清、東 宗伸、平野宗寿、伏木宗文、三尾宗篤、村本宗和、山本宗力、荒川宗弘、有田宗由、伊藤宗有、岩崎宗美、遠藤宗妃、大塚宗善、改田宗智、木下宗圭、黒川宗知、小林宗初、齊藤宗光、清水宗初、鈴木宗朗、鈴木宗由、外園宗光、武智宗恵、辻 宗香、中西宗徳、日時宗起、藤森宗敏、森川宗章、山本宗道、吉見宗喜、高桐宗智、山内宗智、武部宗幸、野口宗美(以上滋賀)

合計 一七二、四五〇円  
 累計 三三〇、三二八、四四二円

四畳半タイプ 四畳半上座床本勝手切  
 二畳タイプ 一畳台目向切下座型床

京の数寄、匠の技が集結。  
**茶の湯を愉しむ**

《短時間で設営可能な組み立て工法》  
 詳細につきましてはお問い合わせください。

株式会社 ミリエーム 〒602-0006 京都市上京区小川通寺之内上る2丁目禅院町648-1 TEL 075-451-5111 FAX 075-451-7484

淡交カルチャー教室 ※表記の価格は税込です

九州福岡・由布院温泉 茶の湯の旅  
 芦屋釜の里と高取焼窯元を訪ねて **2泊3日**

博多の黒田家とゆかりのある寺院での一会や、「芦屋釜の里」で特別見学ができます。また高取焼の窯元では名工と身近に接していただけするなど、盛りだくさんの内容です。

11月15日(火)～17日(木)  
 羽田空港発着:209,000円/JR博多駅集合・解散:163,000円  
 大人1名様料金(2名1室) 定員20名 添乗員同行※最少催行人員8名  
 入定寺・芦屋釜の里「蘆庵」にて茶席。由布院 亀の井別荘・ホテルオークラ福岡宿泊。

※ツアー詳細は  
 お問い合わせ下さい 淡交社 文化事業部 京都 ☎075-432-4090

ぶどう 葡萄絵茶碗  
 ろくべえ 六兵衛窯

18,000円(税込)  
 木箱(送料別)

【寸法】  
 口径11.6cm 高さ7.5cm

淡交センター・カラム  
 京都店 075-432-5156  
 東京店 03-5269-2371  
 FAX専用 ☎0120-310-278



秋季特別展

私の一碗

— 六十五碗 それぞれの想い —

開催中～12月11日(日)

しっかりと手に馴染んで愛着のある茶碗、代々受け継がれてきた大切な茶碗、自ら作陶したお気に入りの茶碗—等、自分にとってかけがえのない一碗を六十数名の方々に出品いただき、その茶碗の魅力、茶碗との出会いや心に残るエピソード等、出品者からの紹介文とともに展覧いたします。



黒刷毛目茶碗  
久留米藩家 柳原焼  
出品者：相国寺管長 有馬親底



黒染茶碗 銘次郎 藤田美術館蔵  
表千家6代寛々斎 作  
裏千家7代笠叟 所持  
出品者：藤田美術館  
(10月12日～30日展示)

[開館時間] 9時30分～16時30分(入館は16時まで)  
[休館日] 月曜日(但し10月10日[祝]は開館、10月11日(火)、11月1日(火)・2日(水)  
[入館料] 淡交会会員800円、一般1,000円、大学生600円、中学生350円、小学生以下ならびにメンバーシップ校の方は無料、20名以上団体割引  
※入館者には呈茶を行います(無料)。

茶道資料館 TEL:(075)431-6474  
京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内野町682番地  
裏千家センター内

茶道資料館  検索

11月の予定 <行事・支部研究会>

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	●第58回九州地区大会(主管 博多支部)～6(日) ●第29回裏千家「今日庵訪問」事業 ・いわき・呉・下関・山口
6	日	●永源寺奉茶 ・秋田北・いわき・西大寺・周防・下関
7	月	・秋田北・茨城・岩国
8	火	・茨城・横浜
9	水	●醍醐寺献茶式 ・横浜・三河
10	木	・但馬
11	金	・札幌第四・但馬・宇和島
12	土	●第49回中国地区大会(主管 倉敷支部)～13(日) ・札幌第一・宮城・栃木県・宮津・神戸第一・西播磨・八幡浜 ・高知・香川・筑豊・大牟田・佐世保 ・札幌第二・宮城・栃木県・埼玉県・千葉県・岐阜・滋賀 ・和歌山・明石・播磨・大洲・高知・香川・筑豊・大牟田 ・長崎(五島)・佐世保
13	日	
14	月	・札幌第三・岐阜・三島
15	火	・長野県・熊本
16	水	・庄内・愛知第二・長野県・京都南/京都北・熊本
17	木	●春日大社献茶式 ●池上本門寺献茶式 ・庄内・埼玉西武・小田原・神戸第二
18	金	・沼津
19	土	●宗旦忌
20	日	●第9回茶道文化検定
21	月	
22	火	・鎌倉・石川・大阪東/大阪西/大阪南/大阪北
23	水	・秋田・鎌倉・川崎・石川・阪神
24	木	・秋田・愛知第一・三重北
25	金	・三重北・石川南
26	土	・帯広・群馬県・湘南・三重南・高岡・福井・岡山・福山 ・備北・宇部・高松・福岡・鹿児島・大分・宮崎
27	日	・帯広・群馬県・相模・三重南・高岡・福井・奈良・淡路 ・岡山・福山・備北・三次・宇部・高松・福岡・鹿児島・大分 ・宮崎
28	月	●大徳寺聚光院当番
29	火	
30	水	●厳島神社献茶式 ・愛知第一/愛知第二/愛知第三

※支部名は研究会開催支部、細字の支部名は前日より開催。詳細は各支部にお問い合わせください。  
9月号に掲載の10月支部研究会日程に変更がありました。  
・滋賀支部 変更後：16日(日) 変更前：9日(日)

イラストでわかる 茶懐石のいただき方



茶事に参加する前の予習として最適です。また、最大の難所「千鳥の盃」や「未客の動き」も、一つ一つの動きを丁寧に解説します。  
●A5判短辺綴じ 2色刷 96頁  
●定価1,296円(本体1,200円)

茶道誌 淡交 2016年10月号増刊  
干菓子百選

選ぶたのしみ、贈るたのしみ  
春夏秋冬に合わせた全国各地の干菓子の紹介や、鈴木宗博氏による干菓子の盛り方取り合わせる際の心構えの解説などさまざまな方面から紹介します。  
●A5判 136頁(カラー84頁)  
●定価864円(本体800円) 2016年淡交増刊号



お申し込み お問合せ先 淡交社 〒603-8588 京都市北区堀川通鞍馬口上ル TEL075(432)5151(平日9:00～17:00) 〒162-0061 東京都新宿区山谷柳町39-1 TEL03(5269)7941  検索